



# しらかわ報

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 北村準一 定価 1部5円 印刷 白南風社

人口の動き	
9月1日現在	
男	5.434 (+5)
女	5.541 (-3)
計	10.975 (+2)
世帯数	2.461 (-2)
( )内は前月との比較	

## 町政コーナー 児童手当制度の実施

町政コーナー

児童手当制度は、わが国の社会保障制度のなかでまた表現していない唯一の制度として、また、児童福祉の増進をはかるうえでの重要な制度として、その早期実現がかねてから懸案となっていたわけですが、さきの国会で児童手当法が成立し、いよいよ、明年一月から実施されることになりました。制度のあらましは、さつと次のようなものです。

まず、制度の目的ですが、児童

と同時にその基礎になる家庭の安

初年度は  
五歳未満だけに

を養育している人に児童手当を支給することによって、児童の育成の場である家庭における生活の安定をはかるとともに、次代の社会をになう児童の健全な育成と資質の向上をはかることをねらいとしています。

また、支給の対象となる三人目以降の児童は段階的に拡大することになっていて、最初の年(昭和四十七年一月)は昭和四十八年三月(昭和四十七年一月)はこれを五歳未満の児童とし



急ピッチの白倉小学校建設工事 (8月27日写す)

定をはかるといふことになり、次に、支給を受けられる人と手当の額はどうかという点、十八歳未満の児童を三人以上養育している人に対して、三人目以降の児童で義務教育終了前のもの一人につき月額三千円を支給します。

### 年三回に分けて支給

支給を受ける方法としては、第一に、役場に申し出て町長の認定を受けていただきます。

認定されれば、毎年二月、六月、十月の三回に分けて、それぞれ前月までの手当をまとめて町で支払いますが、明年の一月分と二月分は三月に支払うことになっていきます。

なお、公務員については、国や地方公共団体等で直接、認定および支給を行ないます。

### 該当、

#### 町内で百七十人

以上が、ようやくスタートにこぎつけた児童手当の概要であるわけですが、認定請求の受け付け開始も十月と予定されるので、次号で、さらに詳細をお伝えするてはすを控えています。

いまのところ、町における該当見込みは明年一月の開始時で百七十一人、これを地区別にしてみると、千手六十二人、上野二十五人、橋四十三人、仙田四十一人という内訳になり、すでに九十六万円の予算措置も終えました。

児童手当の支給に要する費用は国や県、市町村および事業主がそれぞれ立場で負担しますが、これを契機に、児童福祉に対する認識を新たにしたいものです。

## 行事

九月

十五日 郡内の三町村から中学生、高校生、青年、壮年老人および婦人の各層代表が集まり、「老人と各世代との対話集會」を開く。会場は伊友の老人いこいの家。月見荘で午後一時開会、主催は郡社会福祉事務所。十六日 銃砲類のいっせい検査(役場分室) 二十二日 農業委員会

### 交通安全

秋の全国交通安全運動が、きたる

二十七日(月)から十月六日(水)までの十日間にわたって実施されます。今回の運動は、歩行者事故とくに子供と老人の事故防止を最重点に、あわせて飲酒運転の絶滅をはかることが目的です。幼児のとび出しや危険な遊びの防止に「愛のひとつ」をお願いします。

十月

さる八日に開かれた町

投票日 選挙管理委員会において、町長選および町議補選の日取りが次のように決定しました。

告示 十月 十日

立候補締め切り 〃 十一日

投票日 〃 十七日

町議会報告

議長に三期連続和久井氏

(第六回) 臨時会 広域市町村圏協議会設置を議決

八月中旬から九月上旬にかけて、わずか一か月の間に定例会一回、臨時会二回と、都合三回もの町議会がやつきばやに招集されました。その結果議会議長の交替や三千万円近い中仙田地区簡易水道建設工事請負契約の議決、約四千万円にのぼる一般会計予算の補正のほか、町婦人会から出された公民館設立に関する請願の審議に当たって、委員会付託を省略した異例の即時採択を行なう等々、劇的要素もたつぷりに重要案件が処理され、この期間は、町政に、おりからの、ふり返した暑さや台風に対する一喜一憂にも劣らない熱気をもちました。

議会議員人事が焦点の第六回臨時会は、今日一日に招集されました。

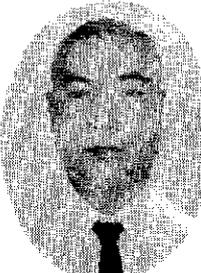
この臨時会では、「十日町地域広域市町村圏協議会の設置について」と「教育委員会委員任命について同意を求める件」の二つを、いずれも原案どおり可決したあと、正副議長選挙および正副常任委員長の選任等を日程に追加しました。

まず、正副議長選挙については、投票の結果、次のように和久井精一議長、小林申一副議長が実現しました。



和久井議長

議長選挙の開票結果  
二十票 和久井精一  
(ほかに白票一票)



小林申副議長

副議長選挙の開票結果  
十八票 小林 申一  
一票 中村 金作  
一票 小林 与作  
(ほかに無効票一票)



中村産経委員長

また、正副常任委員長の選任に当たっては、各委員会ごとに互選したものを、あらためて、本会議において指名推薦の方法によって選任していますが、以下はその結果と委員会の新構成です。(○印は委員長、○印は副委員長、△印は所属変更職員で、かっこ内は変更前の所属です。)



中村産経委員長

総務文教 定数八人 △桐生昌平(土厚) 小林申一、○須



滋野土厚委員長

委員 会 小仙田地区簡易水道施設の工事請負契約については、八月七日に指名四社による競争入札を執行し、

第五回臨時会 中仙田北栄建設の手で 公民館設立請願を採択

お盆に先立つ八月十二日に招集された第五回臨時会は、中仙田地区簡易水道施設建設工事請負契約と川西町公民館設立に関する請願の二つを審議するために開かれたものです。

また、入札まで行なうが予定価格に達しないので、結局は随意請負契約によって、相手方に北栄建設株式会社を、金額は二千七百三十三万四千円という提案に対し、質疑討論を行なってこれを原案どおり可決しました。

によるものです。

産業経済 定数七人 ○中村金作、○押木二吉、長谷川福

委員 会 松、村山義雄、敷藤豆、水落達一

土木厚生 定数七人 △小林与作(総文) 田中与三郎、

委員 会 滋野一郎、小川清次、高橋弥太郎、○登坂茂、市川富二

教委、丸山宗太郎氏を再任

なお、教育委員会委員任命の件は、今日十五日で任期が満了する丸山宗太郎氏(下原、現教育委員長)を引き続き選任したため同意を求めたものです。

分館の整備も

公民館設立に関する請願は、町婦人会連絡協議会長半田リトさん以下、婦人会員千六百六十七人が提出しました。

その趣旨は、現在の公民館だと社会教育活動にきわめて不便であり、日曜日等に学校施設を利用するほかは活動する場所がないので早急に、独立の公民館(あるいは町民会館)を建設してほしいというものです。

この問題の質疑に際しては、施設の社会教育上の位置づけ、建設時期、規模および関連事項としての地区分館の充実計画にはご先が集中しました。

そして、これらに応じて、社会教育における公民館というのは、義務教育における学校施設に相当するものであり、建設希望時期の明示してないのは、他の重要事業とのかねあいを考慮したうえで一日も早くという意味であるとの説明が行なわれました。

いて、委員会付託を省略してただちに本会議で結論を出したいという動機がとおり、建設に当たっては委員会を設けて慎重に取り組むこと、並行して分館の整備を進めることなどの意見が出され、この請願は採択されました。

なお、採択の決定後、根津町長が発言を求め、この問題は、総合的な施設の建設という線で前向きに検討するという意向を明らかにしています。

第七回定例会も

終わる

九日、会期一日で

町議会九月定例会は、前回の人事議案から旬日を隔てない九日に招集され、会期一日で、予定した五つの議件をいずれも原案どおり可決して散会しました。

五つの議件の内訳は次のとおりです。  
○一般会計予算の補正  
○国保事業特別会計予算の補正  
○土地開発基金条例の制定  
○職員給与条例の一部改正  
○新潟県消防団員等公債組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約変更

このうち、一般会計予算の補正は今回が二度目で、内容としては道路、雪害対策など土木費に約千二百万、土地開発基金に千百万、白倉校建設に約四百万、災害復旧費に約二百万等、合計約三千八百万円を歳出に追加し、これらの財源として、交付税および町税の伸びと国庫からの補助金などを見込んでいます。

# 赤い羽根共同募金が始まります

ことしも、十月一日から十二月末まで全国いっせいに赤い羽根の共同募金運動が展開されます。

ことしの運動のローガンは「豊かな心をつなごう」であり、赤い羽根は、この世の中から不幸を追放し、明るい、しあわせな社会を築き上げようとしている社会福祉事業を、みんなの力で盛り立てる運動です。

わたしたちの住んでいる社会には、身寄りのない子供やお年寄り、からだの不自由な人、働ける人のいない家庭など、恵まれない環境にある人たちがたくさんいます。

それらの人々が、少しでもしあわせになれるように、社会保障制度の充実を願いつつ、たがいの善意を持ち寄って、この運動にご協力ください。

昨年、皆さんから寄せていただいた募金の額をお知らせしてみると、町で総額五十二万七千八百八円、県全体では約一億五千万円にも達し、これらの浄財は、いずれも社会福祉事業の拡充のために使われました。

## 昨年は

### 五十三万の実績

参考までに、昨年、皆さんから寄せていただいた募金の額をお知らせしてみると、町で総額五十二万七千八百八円、県全体では約一億五千万円にも達し、これらの浄財は、いずれも社会福祉事業の拡充のために使われました。

〇寝たきり老人対策施設の建設を促進  
〇赤い羽根子供の遊び場作り  
〇地域住民福祉活動の促進  
以上を重点事項にし、目標額も九千二百九万六千円と決めて皆さんにお願ひすることになりました。川西町としては、例年のように町に対する目標額が示されたい嘱託員を通じて、赤い羽根共同募金封筒を添えてお願ひする手はずになっています。

その際は、どうぞご協力ください。ありがとうございます。

## ありがとう

### 「愛の協力」

#### 封筒募金の結果

七月に実施した「社会を明るくする運動」月間の事業のひとつ、「愛の協力袋」封筒募金は、全町の皆さんの暖かいご協力をいたいて次のようにまとまり、さっそく、地区保護司会に納入いたしました。ご報告と同時に敬礼を申し上げます。

募金総額……九四三、五五円

## 沖繩の干害に

### 救援の手を

沖縄では、三月から続いたひどい干害のため、八十一年ぶりという異常干害に襲われています。

基幹作物であるサトウキビ、パインアップルをはじめ、水稲、野菜等、農作物は、ほとんど全滅の危機に直面し、また、家畜にも米

# ドラマチックな議長選



副議長が即会して選挙にはいる。



事務局長の急呼に応じて堂々めい。



二議員の立会いのもとに開票する。



当選の告知を受けて出席で投票を済ませる。

## 農業共済

### 損害評価の日程

最終申告は27日まで

ことしも、稲作は、米の余剰を背景として、その需給関係を調整するために他作物への転作や休耕など、一連の施策が推し進められる中で収穫期にはいりました。

このようにきびしい情勢下におかれていくといっても、農業生産の面で、稲作の占める地位に変わることのないのは申すまでもありません。特に、本県のような米産地においては、こんなことも主流をなすものです。

手 順	申 告 期 限	第 一 回	第 二 回	第 三 回
しゅうかい調査(部)	7日			
審判員による	9日			
抜取り調査(町評価委員による)	10日			
	17日			
	19日			
	27日			
	29日			
	30日			

米というものを、自主流通米という流れに添って、良質かつ商品性の高い米に仕上げるよう、努力が要求されています。

被害の程度によって実際に取れる収量を見込み、引受け単収から見込み単収を引いた差に対して、一キログラム当り百円という共済金を支払います。

ものが不可欠の要素になります。損害評価は、稲作の場合、簡単に「取れ高調査」といって、もよいでしょう。

また、精度の高い見込み単収をつかむため、昨年から実測を行ない、万全な評価を期しているところだ。

# 老後に健康と生きがいを

## 十五日から老人福祉週間

十五日は「敬老の日」、この日から老人福祉週間が始まります。世の中の急激な変動によって引き起こされた多くの問題の中でも老人問題は特に深刻なもので、ひとり老人だけにとどまらず、住民すべてが、みずからに負わせられた問題として、真剣に考えていかねければなりません。

敬老の日と老人福祉週間は、長い間、社会に貢献してきた老人をみんなで敬愛し、長寿を祝うとともに老人の健康と生活を守り、いっしょに、老人自身も時代とともに生きる意欲を高め、その知識、経験を社会のために役立たせていくことを継続します。

### 四〇五人に 敬老祝金

町でも、この期間を中心に運動を進めよう。

① 老人の健康と暮らしを守る運動を進めよう。

② 老人にふさわしい役割と生きがいを考えよう。

③ 老人にふさわしい役割と生きがいを考えよう。



元気な町のお年寄り衆  
月見が原公園の造成とその後の維持管理で活躍するお年寄りの皆さん。各町内に帰ってもご覧のように公共施設の除草などでカクシヤクとしたもの。(木暮で)

また、十五日現在七十五歳以上のかた四百五人に対して敬老祝金を贈ります。

果も、例年のように、七十五歳以上のかたには記念菓を、ことし九十歳になられたかたに記念品とお祝い状をそれぞれ贈ります。

- 十五日現在、町で九十歳以上の長寿者は次のみなさんです。
- 田口 ヨ子 木暮 八八歳
  - 高橋 ナツ 神社町 九八歳
  - 根津 久蔵 原田 九四歳
  - 田畑 熊蔵 元町 九三歳
  - 川崎 ムメ 越ヶ沢 九二歳
  - 小林 直三 中島町 九一歳
  - 宮 ソメ 山野田 九一歳
  - 小海 治吉 稲条 九〇歳
  - 田村 ノヤ 鶴吉 九〇歳
  - 羽鳥 伝吉 伊友 九〇歳
  - 田畑 テル 元町 九〇歳
- 以上十一人

### 職業訓練校で 生徒を募集

新潟総合高等職業訓練校では、次の要領で明年四月入校の生徒を募集します。

- 一、募集職種・人員  
(訓練期間二年) 鑄造科二十人、機械科(機械専攻)三十人、同(仕上専攻)二十五人、溶接科二十人、電気機械科三十人、木工科二十五人、機械製図科二十五人
- 二、応募資格  
(一) 中学校および高等学校を卒業した人。(明年三月卒業見込みの人を含む。機械製図科

### 戸籍の窓から

たかさこ一円満に

- ◎新郎 大海 匡 籍条
  - ◎新婦 布座タイ子 柏崎から
  - ◎新郎 登坂 富夫 中仙田
  - ◎新婦 古寺美野子 白根から
  - ◎新郎 小林 正幸 中仙田
  - ◎新婦 佐藤あき子 藤沢から
  - ◎新郎 太田 豊治 中屋敷
  - ◎新婦 黒川美江子 千葉から
- うぶ声—おすこやかに
- 羽鳥真由美 貞雄 二女 木暮
  - 南雲 利光 博 長男 中仙田
  - 高橋 洋一 芳造 長男 伊友
  - 中村 潤 勉 二男 坪山
  - 春日 敬幸 敏夫 長男 神社町
  - 村越 昭彦 勝蔵 長男 野口
  - 高橋 麻子 悌一 長女 三領

は高卒程度の学力が必要。(一) 鑄造科、溶接科、電気機械科は色神が正常であること。

三、申込み  
十一月一日から同二十二日までの間に、学校もしくは職業安定所へ申し込む。

【学校】長岡市住吉三のの一(〒九四〇) 新潟総合高等職業訓練校

小林さんから 香典返し  
八月五日になくなられた小林熊蔵さん(中仙田)のご遺族小林栄作さんから、香典返しとして、町

新種保険を発売  
【郵便局から】  
手軽に利用していただける保険として、皆さんから親しまれてい

の社会福祉協議会にあてて一万円寄付がありました。

手軽に利用していただける保険として、皆さんから親しまれてい

る「郵便局の簡易保険」では、新しく九月一日から、お子さんの学資の準備に役だつ「学資保険」と「老後の楽しみとしてお祝金の支払いをする「特別終身(ながいき)保険」を発売しました。二種類とも、詳細はお近くの郵便局などでお尋ねのうえ、せいせいでご利用ください。

### 納税メモ

今月は 固定資産税  
第三期分の納期です

八月末の軽自動車税対象の登録台数は次のとおりです。

バイク五〇〇以下、二〇六七台

五〇一 一三五〇

その他二輪 八六一台

耕運機 七四台

軽三輪 一〇三三台

軽四輪(貨物) 五三〇台

軽四輪(乗用) 二七一台

これを、町民世帯あたりにすると、バイク等二輪車ですと、バイク等三輪車ですと、バイク等四輪車ですと、十世帯に三台の割合です。



かわにし 俳壇  
太田白南風選  
大倉 金子洋石  
蟬ばかり寺の広さを鳴いて居る  
谷霧の稲の穂すれに暗れて来し  
若竹の節々白く雨の中

小白倉 片桐 玉章  
コスモスのしづかな風に任せ居る  
稲光り故郷こぼしき夜なりけり  
この川の仕舞舞舟や月見草  
小白倉 江口 凡石  
劇場は舞団扇の音動く  
夏草に埋りて暮小さかり  
降越しののたたら道や萩の花  
松風園 南雲 文峯  
岩肌を伝はる流河原なく  
元町 金子 鉄舟  
畦豆の花盛りなり早稲のつゆ